

平和が丘防災タイムズ 第38号

平和が丘学区防災委員会

30年続いた平成の元号もあと2ヶ月で終わろうとしています。新元号はどのような名前になるのでしょうか。平成最後の防災タイムズ、第38号では、各自主防災会の訓練への取り組み結果および気象庁の「特別警報」についてご紹介します。

○平成30年度自主防災会 防災訓練実施結果集約

平成30年度の各自主防災会(自治会単位で構成された自主防災組織)における防災訓練の内容をまとめましたので、以下にご紹介します。

各自主防災会での来年度の訓練計画にご活用ください。

自治会名	一丁目・二丁目	三丁目	四丁目北	四丁目南	五丁目・八前三
実施日	10月14日	10月20日	6月2日	9月22日	9月30日
実施曜日	日曜日	土曜日	土曜日	土曜日	日曜日
実施時間	10:00~11:30	10:00~11:30	10:30~11:00	10:30~11:30	10:00~12:00
実施場所	コミセン	第一公園	濁池公園	第二公園	コミセン
実施内容	消防団の活動状況の説明、防災委員の災害発生時の行動、備えについての講話	初期消火・情報伝達 安否確認・避難誘導	初期消火訓練 搬送訓練	初期消火訓練 応急担架訓練 ジャッキの使用法	震災シミュレーション(図上訓練・ドアノブハンガー) 備蓄食料展示説明
支援部署	消防団	なし	消防署	消防団	消防署
参加人数	45名	13名	70名	24名	76名
コメント	消防署のパンフレットについて説明	東邦高校で意見交換	クリーンキャンペーン終了後に訓練		全ての案内・結果を回覧 ホームページ掲載
自治会名	公務員住宅	光ヶ丘ハイツ	平和が丘住宅	日車マンション	
実施日	9月15日	7月16日	11月10日	10月28日	
実施曜日	土曜日	月曜日	土曜日	日曜日	
実施時間	10:00~11:00	10:00~11:00	10:00~12:00	10:00~11:00	
実施場所	管理人室	集会室	10棟駐車場	敷地内	
実施内容	名古屋市防火・防災について消防署からの説明	耐震工事結果、ホットタオル作成、レジ袋三角巾代用、三角バケツ訓練	救出訓練 消火設備	心肺蘇生法・AED マンション消火 ホースの使用法	
支援部署	消防署	なし	消防署	消防署	
参加人数	8名	20名	23名	10名	
コメント		後日全ての結果を住民に配布	防災倉庫設置に備品を揃えた	消防署から自主防災訓練講話	

○命を守るために知って欲しい「特別警報」(気象庁ホームページより抜粋)

気象庁は、平成25年8月30日(金)に「特別警報」の運用を開始しました。

「特別警報」は、「東日本大震災」や「伊勢湾台風」といった、誰もが一度は聞いたことがあるような大災害が起こるおそれがあるときに、その地域にいる皆さんに最大限の警戒を呼びかけるものです。特別警報が発表された場合は、これまで経験したことのないような非常に危険な状況にありますので、ただちに今いる場所の市町村からの避難情報に従うなど、適切な行動をとってください。(次ページに続きます)

(1) 「警報」とは何が違うの？

「特別警報」は、「警報」の発表基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起こると予想される場合に発表し、対象地域の住民の方々に対して最大限の警戒を呼びかけるものです。また、お住まいの市町村から住民の方々へ確実に伝えられることになっています。なお、「特別警報」には以下の2つのパターンがあります。

①大雨・暴風・高潮・波浪・大雪・暴風雪

大雨・暴風・高潮・波浪・大雪・暴風雪(※)については、「警報」の発表基準よりものはるかに危険度が高い場合に、「大雨特別警報」、「暴風特別警報」のように「〇〇特別警報」といった名称で発表します。

※『洪水』を対象とした特別警報はありません。指定河川洪水予報の発表や水位情報の周知により警戒を呼びかけています。

②地震・津波・噴火

津波、火山噴火、地震については、従来からの警報のうち、危険度が非常に高いレベルのものを特別警報に位置づけています。

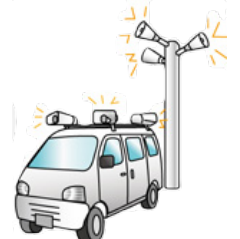
ただし、名称に「特別警報」は用いず、津波については「大津波警報」、火山噴火については「噴火警報(居住地)」、地震については「緊急地震速報」震度6弱以上を予想したもの)を特別警報に位置づけています。

(2) 特別警報の対象となる現象例

「東日本大震災」(地震・津波)や「平成23年台風第12号」(大雨)のほか、我が国の観測史上最高の潮位を記録して5,000人以上の死者・行方不明者を出した昭和34年の「伊勢湾台風」(大雨・暴風・波浪・高潮)、平成24年7月の九州北部豪雨(大雨)、平成12年の三宅島噴火(火山噴火)などが該当します。

(3) 特別警報の伝達手段

特別警報は、警報・注意報と同じく、今いる場所の市町村にある防災行政無線や広報車などのほか、テレビ・ラジオといったマスメディア、インターネットなどを通じて伝えられます。また、携帯電話事業者を介して、緊急速報メールにより携帯電話へ直接配信されます。



防災無線

(4) 特別警報発表時の対応

まずは決して慌てずに周囲の状況に注意し、今いる場所の市町村から避難勧告などが発令されている場合には、ただちに從ってください。避難しようとしたときに、大雨や暴風のために屋外を移動することがかえって命に危険を及ぼす状況となっており、やむを得ず自宅などに留まる場合には、二階などのより安全な場所に退避するなど、命を守るため、最善を尽くしてください。既に避難を完了している場合も油断しないでください。



緊急速報メール

□防災お役立ち情報（名古屋市防災アプリ）



「名古屋市防災アプリ」は、名古屋市の地震災害や洪水災害等の防災情報や、災害時等に公共交通機関が止まってしまった場合に徒歩で帰宅する際の帰宅支援情報を、スマートフォンやタブレット端末で確認できるアプリです。現在位置周辺の被害想定や避難所情報が、カメラで撮影した実写の映像に合成して表示されますので、視覚的にその施設等がある方向や距離を把握することができます。

<編集後記> 昨年は、台風や地震が多く発生する一年でした。東海地域は1854年の安政東海地震発生以後165年も大地震が発生しておらず、いつ発生してもおかしくないと言われていいます。今年、阪神・淡路大震災(1995年(平成7年)1月17日)から24年、東日本大震災(2011年(平成23年)3月11日)から8年が経過しますが、これら大災害での教訓を学び活かすことで、犠牲を最小限にとどめるよう日頃から訓練や準備を行うことが大切です。(編集 前島)

